

■地域人材を活用した学習

(石狩市立花川南小学校)

Point 地域住民と対話し、花きを教材として表現の楽しさを味わわせる。

●実施学年 第4学年

●教科等 図画工作科（1時間）

●目 標 感じたことや思ったことを地域の人と話し合い、花を材料としたいろいろな表し方を楽しむことを通して、形や色、組合せなどのよさや美しさを味わうことができる。



【地域住民との対話】

●内 容

	○主な学習活動	□教師の働きかけ	備考
導入	○ 花の組合せ方について、講師の説明を聞く。	□ 児童の様子を把握し、必要に応じて補足説明する。	講師による説明
展開	○ 講師と対話しながら、いろいろな花の組合せ方を試し、花を材料とした表現を楽しむ。	□ 花の組合せによる表現を楽しむことができるよう、児童の表現のよさを積極的に認める。	講師と対話できるようグループ等を工夫
終末	○ 完成した作品をお互いに見合い、対話することで、それぞれの表現のよさや違いに気付く。	□ 表現のよさや違いに気付くことができるよう、作品を鑑賞する視点を伝える。	講師による講評

■花きの栽培を通じ異文化について理解する学習（小樽市立花園小学校）

Point 提供を受けた球根を栽培することを契機として、異文化について理解を深めさせる。

●実施学年 第4・5学年

●教科等 総合的な学習の時間（3時間）

●目 標 提供を受けた球根（オランダチューリップ）の栽培を通して、外国の生活や文化について調査し、理解を深めることができる。



【チューリップの観察】

●内 容

【単元の流れ】

- ① オランダ北海道人会からオランダチューリップの球根の提供を受ける。
- ② 学校の花壇で栽培する計画を立てる。
- ③ オランダについて調査活動を行い、生活の仕方や文化について理解を深める。

【配慮事項】

- オランダの生活や文化を調べる活動を位置付ける。
- オランダチューリップの観察を通して、花に対する興味・関心を高める。
- 道徳の時間との関連を考慮して学習を展開する。

■ 地域の方と連携した体験的な学習

(黒松内町立黒松内小学校)

Point

年間を通じたハーブの植栽、刈り取り、オイル作成等を通して、四季の変化を体全体で感じ取らせる。

●実施学年 第1・2学年

●教科等 生活科(5時間)年間を通じて断続的に位置付け

●目標 身近な自然に目を向け、興味・関心をもってかかわることを通して、自然のすばらしさや四季の変化を感じることができる。

●内容

【単元の流れ】

- ① 地域の方をゲスト・ティーチャーとして、学校前の花壇にハーブを植える。
- ② 生活科や休み時間、放課後の時間を活用して継続的に花の世話をする。
- ③ 地域の方をゲスト・ティーチャーとして、ハーブを刈り取り、オイルを蒸留する。
- ④ 活動を振り返り、自然のすばらしさや四季の変化について交流する。

【配慮事項】

- 自分が育てた花を利用して、オイルを作るようにする。
- ハーブの植栽、刈り取り等のそれぞれの活動で記録したワークシートを活用しながら、四季の変化が感じ取れるようにする。



【ゲスト・ティーチャーの説明】

■ 校地内の自然を活用した探究的な学習

(苫小牧市立明德小学校)

Point

木育マイスターと連携した自然観察学習を計画的に位置付ける。

●実施学年 第3学年

●教科等 総合的な学習の時間(35時間)

●目標 「ふれあいの林」等の学校周辺にある自然を活用した植物観察や、木育マイスターからの説明を通して、自然を大切に、自然と共生するための実践的な態度を育む。

●内容



【学校周辺の自然の観察】

時間	○主な学習活動	□教師の働きかけ	備考
1次	○ 身の回りの植物の種類や特徴などについて調べるテーマを決定する。	□ 植物の写真の提示や説明を通して、調べる植物のテーマを決定できるようにする。	
2次	○ 「ふれあいの林」を活用した植物観察や「秋のお弁当箱」作りなどの体験活動を行う。	□ 「木育の玉手箱」や落ち葉、木の実を活用した「お弁当箱」作りの紹介を通して、自然の豊かさや多様性、自然との共有に気付かせる。	・木育マイスターの活用
3次	○ 観察した植物や体験活動についてまとめて発表し合う。	□ 自然を大切にする気持ちを忘れずに、実践につながるよう働きかける。	

■地域の資源を活用した探究的な学習

(新ひだか町立桜丘小学校)

Point 地域の資源である桜を活用して、地域のよさを実感させる。

●実施学年 第4学年

●教科等 総合的な学習の時間（18時間）

●目標 地域の桜並木周辺の動植物の観察やそれらの保全に努める人々の活動について調べる学習や、桜を使ったものづくりなどを通して、地域の自然や歴史について理解を深めるとともに、地域の自然や歴史、文化を守るために自分たちができることについて考えることができる。



【桜並木を活用した学習】

●内容

時間	○主な学習活動	□教師の働きかけ	備考
1次	○ 桜や桜並木の保全に努める人々に関わり調べてみたいことについて、個人課題を設定する。	□ 社会科の学習を振り返らせるとともに、地域にある桜並木などに関する資料を提示する。	町の環境協会との連携
2次	○ 桜に関わる動植物の生態や桜並木を保全する人々の取組について調べる。 ○ 桜の押し花づくりを行う。	□ 桜や桜並木、地域の歴史に関する資料や、桜の押し花の見本などを提示する。	現地調査に係る日程調整
3次	○ 桜並木に関わる動植物の生態や保全する人々について調べたことを壁新聞にまとめる。	□ 国語科の学習と関連付け、見出しやレイアウト等の工夫を促す。	学校図書館との連携
4次	○ 発表会で全校や地域の方々などに発表する。 ○ 桜の押し花を地域の方々などに配布する。	□ 桜並木の保全に関わる地域の方々などに参観してもらい、児童の学習意欲を高める。	地域や保護者等との連携

■さわらフラワーロードを活用した活動

(森町立さわら小学校・森町立砂原中学校)

Point 森町花いっぱい運動推進協議会と連携を図り、小中合同で取り組む。

●実施学年 全学年

●教科等 特別活動（勤労生産・奉仕的行事）（3～6時間）

●目標 地域への関心を高めるとともに、自分たちの住んでいる地域を美しくしようとする態度を育成する。

●内容

【活動の流れ】

- ① 花壇起こし（5月中旬～5月下旬）
- ② 苗植え（5月下旬～6月中旬）
 - ・ マリーゴールド・サルビアを国道沿いの花壇に植える。
- ③ 草取り（6月～9月）
 - ・ 小学校、中学校で分担して行う。
- ④ 後始末（10月下旬）
 - ・ 花壇の整理や歩道の清掃を行う。

【配慮事項】

- 日常的に草取りなどの作業を行うように意欲付けを図る。
- フラワーロードに対する地域の方々の思いなどを考えさせる。
- 道徳の時間との関連を考慮して活動を展開する。



【小学生による花植え作業】



【中学生による花植え作業】

■ 柏っ子いけばなクラブの活動

(函館市立柏野小学校)

Point 華道家を講師とし、目的に応じた生け花を通して、興味・関心を高める。

- 実施学年 第4学年～第6学年
- 教科等 特別活動（クラブ活動）（10時間）
- 目 標 華道家を講師とし、様々な目的に応じた生け花の活動を通して、草花に対する興味・関心を高めるとともに、主体的に協力して活動し、一人一人の個性の伸長を図る。

●内 容

【活動の流れ】

- ① 計画づくり
- ② プレゼントで贈る花
- ③ 季節を表現する生け方
- ④ 行事の時に飾る花
- ⑤ 道南地区学校華道いけばな展準備
- ⑥ インターネット花展準備
- ⑦ 全函館華道展準備
- ⑧ 活動反省
- ⑨ 卒業式に飾る花

【配慮事項】

- 花器のどこに花をそろえたら美しいかなどを考えさせる。
- 児童相互に関わり合い、創意工夫しながら活動できるようにする。
- 互いの作品を鑑賞し合う機会を十分に確保する。



【華道家を講師としたクラブ活動】

■花いっぱい運動の活動

(上ノ国町立滝沢小学校)

Point 日常的な栽培により、花を育てる楽しみや喜びを実感させる。

- 実施学年 全学年
- 教科等 特別活動（勤労生産・奉仕の行事）（1時間）
- 目 標 花壇に花を植え、日常的に栽培する活動を通して、花を育てる楽しみや喜びを感じることができる。

●内 容

【活動の流れ】

- ① 地域の農家の方が育て、町内に配布している花苗であることを知る。
- ② 学校花壇に配置のバランスを考え、5種類の花を植える。
- ③ 登校時及び休み時間に水やりを行い、継続的に栽培する。

【配慮事項】

- 日常的に草取りなどの作業を行うように意欲付けを図る。
- 花を育てた地域の農家の思いや願いを考えさせる。
- 道徳の時間との関連を考慮して活動を展開する。



【花植え作業】

■ 地域の花きを活用した探究的な学習

(中富良野町立本幸小学校)

Point 栽培した花をプレゼント用に加工し、地域のよさを実感させる。

●実施学年 第3～6学年

●教科等 総合的な学習の時間(15時間)

●目標 ラベンダーの栽培や地域住民及び観光客に向けたプレゼントの作成などにより、自然豊かな地域のよさを知るとともに、周りの人々に伝えることを通して、地域の一員として、町づくりに関わろうとする。



【ドライフラワーづくり】

●内容

時間	学習過程	主な学習活動
1～2	課題の設定	○ 全体の学習テーマを基に、地域のよさや観光客に地域のよさを伝える方法について考え、自己の課題を設定する。
3～9	情報の収集	○ 中富良野町のラベンダーの歴史について調べる。 ○ 地域住民とともにラベンダーの栽培及びドライフラワーづくりを体験する。
10～11	整理・分析	○ 調べ学習や体験活動を通して考えたことを話し合うとともに、観光客に伝えたいメッセージの内容を整理し、カードに書く。
12～15	まとめ・表現	○ 地域住民や観光客にラベンダーのドライフラワーをプレゼントするなどして交流するとともに、地域の一員としての町づくりへの関わりについて考えを深め、新たな課題を見付ける。

※第1、2学年は生活科として栽培・ドライフラワーづくり、プレゼント交流に取り組んでいる。

■ 地域の花を活用した探究的な学習

(礼文町立船泊小学校)

Point 地域の花について調べ、身近な自然のよさに気付かせる。

●実施学年 第3学年

●教科等 総合的な学習の時間(10時間)

●目標 地域に自生している花の調査を通して、身近な自然のよさを知るとともに、地域の一員としてそれらを守るために、自分ができることを実践しようとする。



【身近な植物の観察】

●内容

時間	○主な学習活動	□教師の働きかけ	備考
1次	○ 学校の近くを探索し、自生している花を観察する。	□ 花の観察から、身近な自然に意識を向けさせる。	
2次	○ 図鑑を用いて、観察した花の名前や特徴を調べる。	□ 理科の身近な自然の観察の学習と関連付けて行う。	・学校図書館の活用
3次	○ 調べた花について、分布の様子を地図にまとめるとともに、身近な自然のよさを守るために、自分たちができることを考える。	□ 身近な自然のよさを守るために、生活を振り返らせ、自分たちができることをまとめるよう促す。	

■ 華道体験を位置付けた学習

(美幌町立旭小学校)

Point 地域住民との関わりを通して、華道のよさや花きに対する親しみを実感させる。

- 実施学年 第6学年
- 教科等 総合的な学習の時間（5時間）
- 目標 華道に関わる資料を基に自ら設定した課題を追究するとともに、地域住民との交流を通して、華道のよさや花きに対する親しみを感じることができる。
- 内容 (校区在住の華道教室教授を講師に招いて学習を進めた。)



【華道のよさを発表】

時間	○主な学習活動	□教師の働きかけ	備考
1次	○ 伝統文化である華道の歴史や流派、生け方等について、資料を基に調べ、課題を設定する。	□ 華道に関する資料を提示する。	・地域の華道家との連携
2次	○ 花きのよさを多くの人々に知ってもらう方法について追究する。	□ 地域の花きの魅力を生かした様々な取組を提示する。	
3次	○ 地域の花きを活用した生け花づくりやアレンジメントづくりに取り組み、華道のよさを地域住民に発表する。	□ 地域の華道家を外部講師として招き、花きの魅力について指導する。	・地域の華道家や高齢者福祉施設等との連携

■縦割り班による花壇づくり活動

(帯広市立豊成小学校)

Point テーマに沿って、花を育てる楽しみや喜びを体感させる。

- 実施学年 全学年
- 教科等 特別活動（勤労生産・奉仕的行事）（3時間）
- 目標 花壇づくりを通して、高学年のリーダーシップを育むとともに、花を育てる楽しみ、喜びを感じることができる。
- 内容



【「なかま」と表現した花壇】

時間	○主な学習活動	□教師の働きかけ	備考
※ 今年度の花壇を表現する言葉を児童から募集し、花壇への愛着を持たせる。(今年度は「なかま」に決定)			
1	○ 高学年が中心となり、担当する花壇への花植えや水やりの分担を決めるなど、栽培の計画を立てる。	□ 高学年のリーダーシップが発揮できるように、高学年へオリエンテーションを行う。	 【花壇の花植え】
2	○ 高学年が分担を確認したり、手本を見せたりして、花壇の花を植える。 ○ 水やりの分担を確認する。	□ 高学年と低学年がペアをつくり高学年へのあこがれを育みやすくする。	
※ 高学年と低学年がペアになり、登校時等に水やりを行うとともに、生長の様子を観察する。			
3	○ 花を育てて嬉しかったことや頑張ったこと、高学年のリーダーシップが発揮された場面を振り返る体験発表会を行う。	□ 日々のお世話が花の成長につながったことを振り返らせるとともに、高学年のリーダーシップが発揮された場面を取り上げ、中学年が次年度のリーダーとしての役割を意識できるようにする。	

■ コスモス街道の環境整備の活動

(釧路市立釧路小学校)

Point 日常的な栽培により、地域の方とともに働く喜びを味わわせる。

●実施学年 第3・4学年

●教科等 特別活動(勤労生産・奉仕的行事)(2時間)

●目標 通学路であるコスモス街道を地域の方々と整備する活動を通して、働く喜びを実感し、学校周辺の環境を自分たちできれいにしようとする態度を育成する。

●内容

【活動の流れ】

- ① 通学路であるコスモス街道の花壇の雑草を取り、土を耕す。
- ② コスモスの種をまいたり、キンセンカの苗を植えたりする。
- ③ 雑草取りや間引き作業を定期的に行い、花壇の世話をする。

【配慮事項】

- 日常的に雑草取りや間引き作業を行うように意欲付けを図る。
- コスモス街道に対する地域の方々の思いや願いを考えさせる。
- 道徳の時間との関連を考慮して活動を展開する。



【コスモス街道の花壇の整備】

■ アサガオのつるでリースをつくる学習

(別海町立中春別小学校)

Point リースづくりを通して、植物を育てる楽しみや喜びを深めさせる。

●実施学年 第1学年

●教科等 生活科(8時間)

●目標 アサガオの種を植え、継続的に栽培し、成長をまとめ、つるを活用してリースをつくる活動を通して、植物を育てた楽しみや喜びを味わうことができる。

●内容



【アサガオのリース】

時間	○主な学習活動	□教師の働きかけ
1次	<ul style="list-style-type: none"> ○ アサガオの種を植木鉢に植え、栽培することについて見通しをもつ。 ○ 水やりを行い、継続的に栽培する活動を通して、育てる楽しみを実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 植物を育てるために必要なことについて気付かせる。 □ 継続的な活動を体験させ、植物の立場に立った考えをもてるようにする。
2次	<ul style="list-style-type: none"> ○ アサガオの成長の様子を観察し、カードに記入する活動を通して、植物の育ちに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 植物の変化や成長に関心をもたせ、多くの気付きが生まれるようにする。
3次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が栽培したアサガオのつるを活用して、リースづくりに取り組み、お互いの作品を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 種を採取したり、つるを活用してリースをつくったりすることで、植物への親しみを深めさせる。

■ 身近な植物で染色を行い、美しさに気付く学習（根室市立海星中学校）

Point 身近な植物で「たたき染め」を行い、植物の美しさへの関心を高める。

- 実施学年 第3学年
- 教科等 美術科（5時間）
- 目標 染色によって作り出される色や模様的美しさに関心をもち、デザインの意図に合った材料や技法を選択し、表現を工夫することができる。



【たたき染めによる作品】

●内 容

時間	○主な学習活動	□教師の働きかけ
1	○ 見本の作品の鑑賞により学習の見通しをもち、自分が作る作品のアイデアをスケッチする。	□ 生徒がイメージをもてるように見本を提示する。
2	○ 自分の好きな植物や花きを半分にたたんだ小風呂敷の間に挟み、金槌でたたく。	□ 身近な植物を採集させるとともに、たたき染めの方法について説明する。
3	○ 定着液につけて媒染する。	□ たたき染めの工程を理解させる。
4	○ 染めた小風呂敷を乾燥させ、アイロンをかけて完成させる。	□ 丁寧な作業により、作品の完成度を高めさせ、植物に対する興味・関心を高めさせる。
5	○ 完成した作品を鑑賞し合う。	□ 生徒相互に作品を鑑賞させ、植物の美しさに関心をもちさせる。

■ 地域の活性化を図る地域素材を活用した学習（北竜町立北竜中学校）

Point ひまわりの栽培活動を通し、まちづくり・まちおこしに参画させる。

- 実施学年 全学年
- 教科等 総合的な学習の時間（14～30時間）
- 目標 地域を素材とした探究的な学習を通して、見通しをもちながら物事に取り組み、自ら学び、自ら考え、課題を解決するための資質や能力を育成する。



【生徒によるひまわりガイド】

●内 容

第1学年（14時間）	第2学年（30時間）	第3学年（29時間）
<ねらい> ・地域の自然環境や社会環境の現状を知る。 ・地域の産業やそこに働く人々の地域への思いを知る。	<ねらい> ・地域の現状の深い理解により、地域の将来について考える。 ・地域を活性化している人々の考えを学び、自らの取組を考える。	<ねらい> ・都市と地方との比較から地域の現状について考える。 ・地域を活性化するアイデアと自分ができることを考え実践する。
<主な学習活動> ●ひまわりの栽培活動	<主な学習活動> ●ひまわりの栽培活動 ●北竜ひまわり祭りのPR活動	<主な学習活動> ●ひまわりの栽培活動 ●北竜ひまわり祭りの販売活動

■花壇整備による学校の環境美化の活動

(千歳市立駒里中学校)

Point 保護者等と連携を図り、花壇づくりを行い、環境整備の大切さに気付かせる。

●実施学年 全学年

●教科等 特別活動（勤労生産・奉仕的行事）（1時間）

●目標 学校の環境美化のために、協力して花壇を整備する活動を行うことを通して、勤労や社会奉仕の尊さ、意義を実感することができる。

●内容

【活動の流れ】

- ① 生徒が保護者とともに花壇のデザインを構想する。
- ② 学校の環境美化という目的を意識し、保護者や小学校の児童等と助け合いながら、花を植える。
- ③ 完成した花壇を見ながら、保護者や小学校の児童等と活動をやり遂げた達成感を共有する。
- ④ 登校時及び休み時間に水やりを行い、継続的に栽培する。

【配慮事項】

- 小中併置校の特色を生かし、小学校の児童とともに活動させ、学校に対する愛着を共有できるようにする。
- 学校の環境美化について、保護者とともに活動を行い、創造する喜びや共に協力し合うよさを味わわせる。



【保護者とともにいる花壇づくり】

■中高連携による花きを栽培する活動

(遠別町立遠別中学校)

Point 北海道遠別農業高等学校と連携を図り、花を育てる喜びを実感させる。

●実施学年 全学年

●教科等 特別活動（生徒会活動）（1時間）

●目標 中高連携の授業交流で学んだ知識・技能を活用して生徒が花を主体的に栽培し、花を育てる楽しみや喜びを感じることができる。

●内容

【活動の流れ】

- ① 北海道遠別農業高等学校と農作物の栽培に関する授業交流において、高校生から栽培の方法等を学ぶ。
- ② 北海道遠別農業高等学校から提供されたマリーゴールドやペコニアの苗を生徒会が中心となってプランターに植え、栽培する。

【配慮事項】

- 生徒会を中心とした自治的な活動で花の苗植えや栽培を主体的に行うようにする。
- 授業交流の際に、高校生から学んだ知識・技能を活用して主体的に活動するようにし、花を育てる楽しみや喜びを実感させる。
- 道徳の時間との関連を考慮して活動を展開する。



【中高連携による授業交流】